

ケ ニ ー 耐 震 天 井 D 仕 様

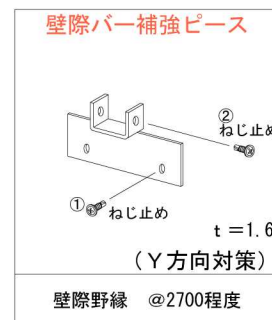
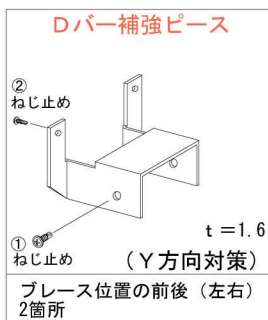
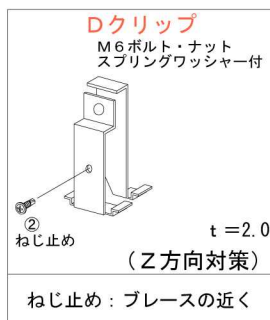
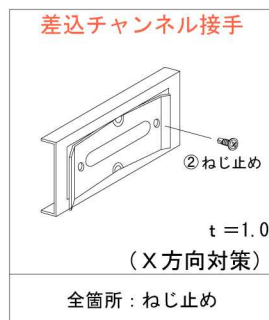
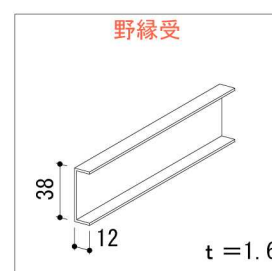
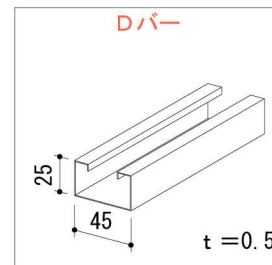
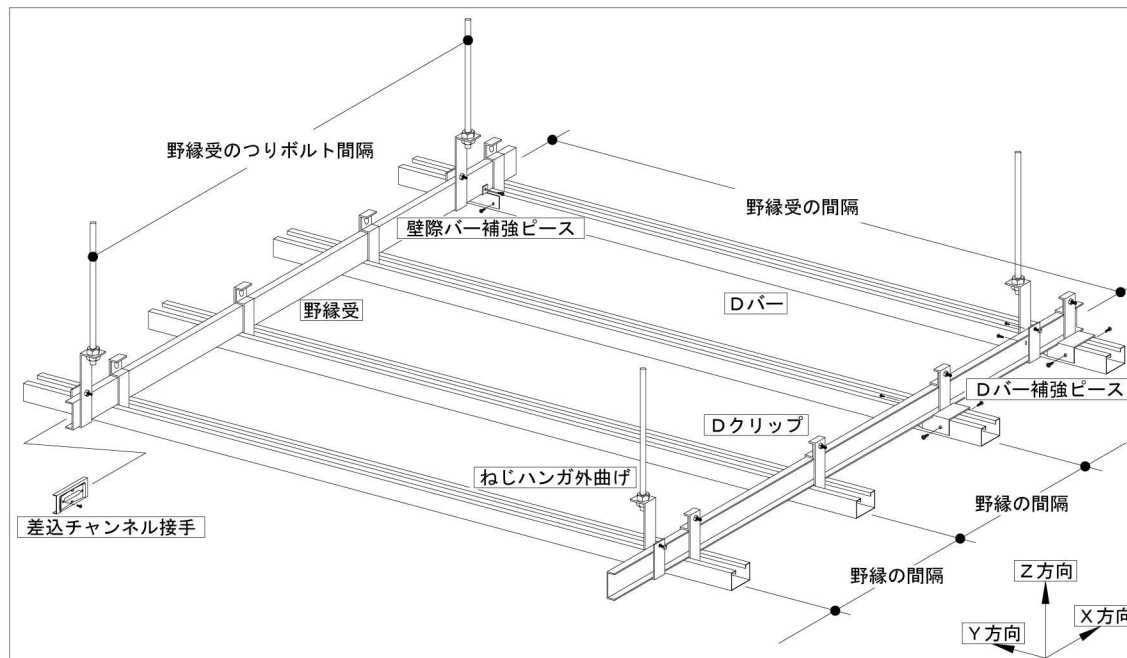
(野縁受 $t=1.6$)

★ Defence (3-Dimensions)

Dバー及びDクリップによる堅固な緊結
D補強ピースによる野縁のすべり対策
ハンガねじ止めによる野縁受のすべり対策

(Z方向)
(Y方向)
(X方向)

平成25年国土交通省告示第771号
に沿った資料にはなっていません。
後日掲載予定です。



注) 以下の商品は添付されておりません。 別途購入願います。

- ①のねじ (野縁接合用) : トルネードポイント フラットモドトラス 4×12 (ヤマヒロ) 同等品
②のねじ (野縁受け接合用及びブレース接合用) : ランスタッチジャックポイント トラス 4×13 (ヤマヒロ) 同等品

i) Dクリップ 及び Dバー (Z方向)

JIS19形クリップに比べ、鉛直方向の強度の平均が3倍以上、しかも施工上の「バラツキ」が少ないです。

	推定弾性限強度 (N)
Dバー 及び Dクリップ	約1400

※ JIS19形の場合、クリップと野縁受の位置関係(向き)により、大きく強度のバラツキが出てしまいます。また、施工上のバラツキによっても強度の数値が大きく変化します。 250~500 (N) (推定弾性限強度)。

ii) Dバー補強ピース (Y (水平) 方向)

野縁受とDバーとのすべりをブロックします。野縁受を挟んでねじ止めしている為、野縁受前後どちらの動きもブロック。

壁際などで、Dバー補強ピースを使えない場合は、壁際バー補強ピースを用います。

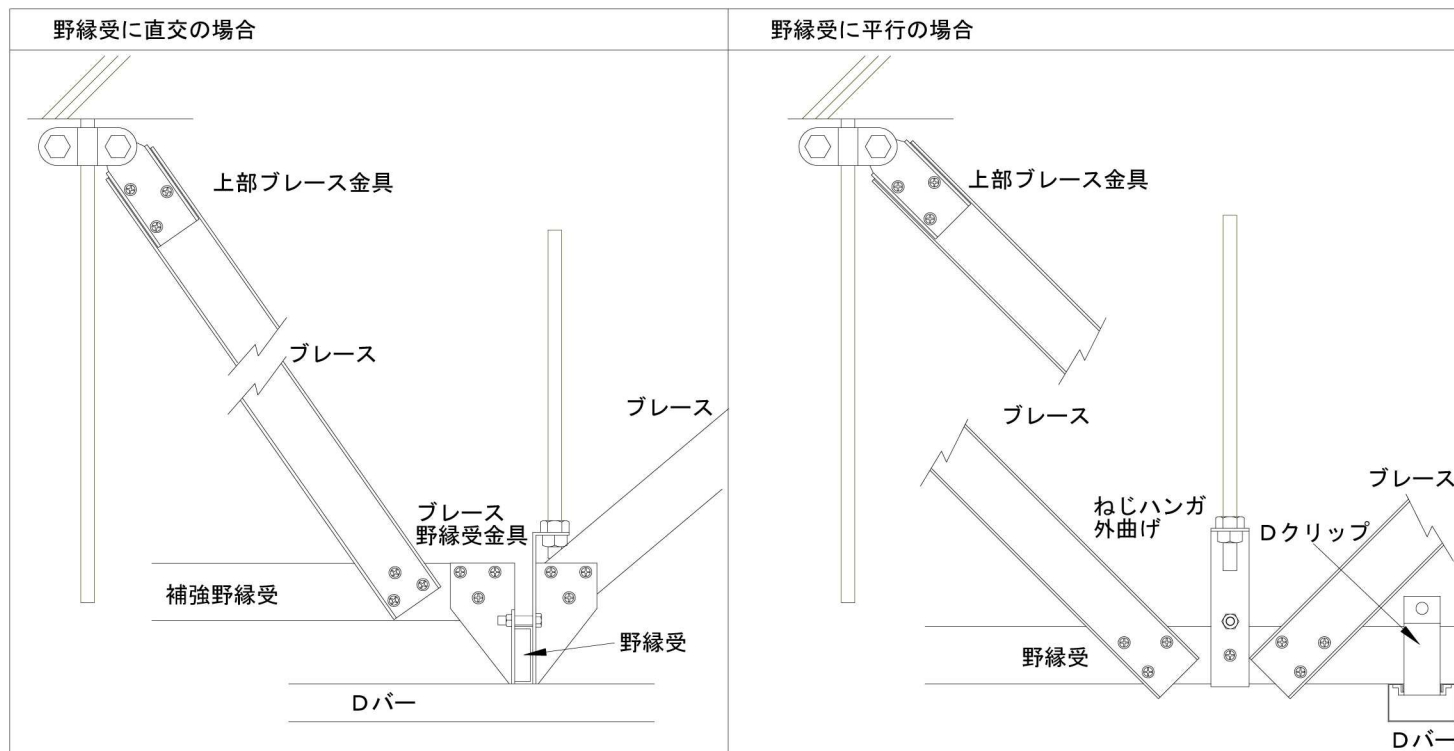
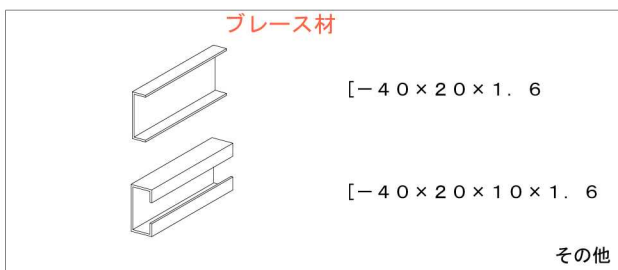
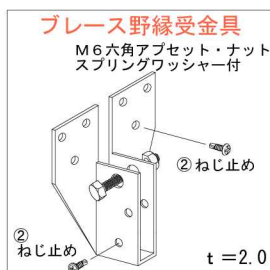
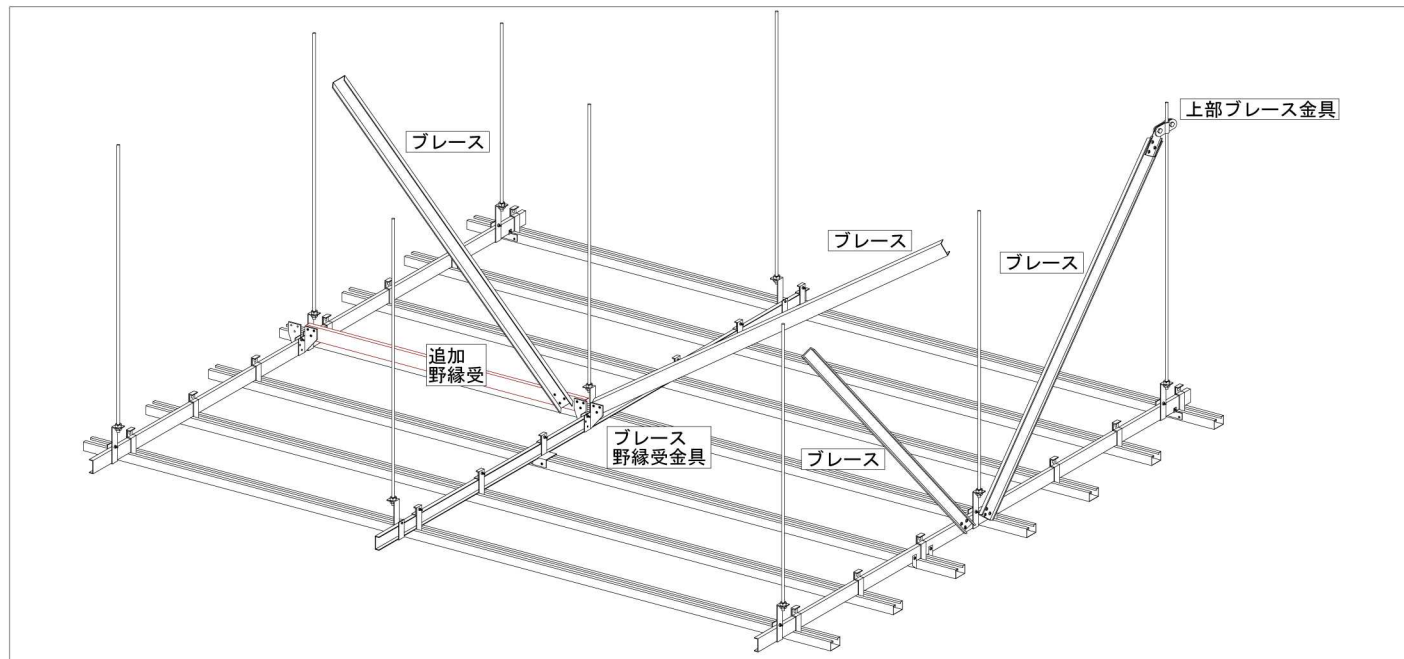
	推定弾性限強度 (N)
Dバー補強ピース Dバー・野縁受	約1500

※ JIS19形の場合、野縁のすべり対策をしていない為、いったんすべり出すと、クリップの位置が野縁受から離れ出し、強度が著しく劣化します。

iii) ねじハンガ外曲げ 及び 差込チャンネル接手 (X (水平) 方向)

野縁受とねじハンガ外曲げとをねじ止めし、すべらせません。(斜めブレース下部のハンガ等)
野縁受と差込チャンネル接手とをねじ止めし、しっかり緊結。

ーブレース配置例ー



※ D仕様は指定の製品・施工条件（強度計算書）・施工方法の範囲内で使用のこと。

★ ブレースの選定について
ブレースの選定は、仕上材の単位重量や、設計用水平震度、天井のふところなどの設定により異なります。ブレース材及び必要数量に関しては別紙参照。（弊社設計部にご相談ください。）
逆ハの字の仕様では吊ボルトの補強が必要となる場合があります。

<http://www.nihonkenko.co.jp/>



日本建工
株式会社

〒141-8650 東京都品川区上大崎2丁目25番5号
 建材事業部 03-5436-6177 <FAX>03-3492-6301
 統轄業務部 03-5436-6164 <FAX>03-5436-6182
 工事営業本部 本社 03-5436-6166

※ 製品・工法改良のため予告なしに製品仕様（形状・寸法・板厚）などを変更することがあります。

発行 2012年 04月